

6月は環境月間です

1972年6月5日からスウェーデンの首都ストックホルムで「国連人間環境会議」が開催されたことを記念し、国連で6月5日を「世界環境デー」と決めました。

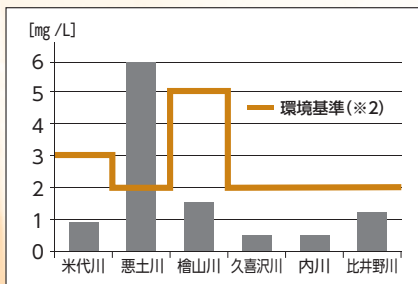
日本では平成3年度から6月の1カ月間を「環境月間」として、全国でさまざまな行事を行っています。
問合せ 環境衛生課 ☎89-2173



秋田県水と緑の
マスコット「森っち」

川の水質調査の結果

BOD(生物化学的酸素要求量)(※1)
元年度平均値



※米代川調査は国土交通省で行っています。
※檜山川、久喜沢川の調査は年1回です。

水の汚れの度合いを数字で示すBOD(生物化学的酸素要求量)は、ほとんどの川で環境基準を達成しています。一部で環境基準を超える川がありますが、原因として、生活雑排水などの影響が考えられます。

川の環境調査測定地点



水質調査の結果をお知らせします
地域の環境を監視するため、市では毎年、川や海、沼の水質調査を行っています。(調査結果は市ホームページでもご覧いただけます。)

川の水質状況

《用語説明》

- ※1 **BOD(生物化学的酸素要求量)**
水の中に含まれている有機物質を微生物が分解する際に消費される酸素の量。数値が大きいくほど汚れが大きい。
- ※2 **環境基準**
人の健康を保護し生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準。生活環境の保全に関する環境基準では、河川を6種類の水域に分類し、その水域毎にBODの基準を定めています。
- ▶米代川(能代橋) 3mg/L
 - ▶檜山川 5mg/L
 - ▶その他の河川 2mg/L

川を汚さないために
川が汚れる原因は、生活雑排水や工場・事業場からの排水、油漏れ、農業排水の流入などが考えられます。特に生活雑排水の汚れの大部分を食用油が占めています。廃食用油は台所から流したりせず、廃油回収に提供するか、新聞紙などで吸い取り、燃えるごみとして出すなどしてください。



●野焼きは禁止されています

簡易な焼却設備(ドラム缶など)でごみを焼却することは野焼きと見なされます。

野焼きはダイオキシンなどの有害物質を発生させるほか、煙や臭いは周囲の迷惑となりますので、伝統行事など一部の例外を除き禁止されています。絶対にやめましょう。

法律に違反して野焼きをした場合、5年以下の懲役または1千万円以下の罰金が科されることがあります。

●生ごみコンポスト容器の購入費を補助します

家庭から出る生ごみの減量化には、堆肥などの資源として活用することが有効です。市では生ごみを堆肥にするために活用されるコンポスト容器の購入費を一部補助しています。

対象者 市内に住所がある方

補助額 今年度中に購入した容器本体の購入費(消費税含む)の1/2の額(1000円未満切り捨て)で、上限は3000円となります。

※購入時の領収書が必要です。
※先着順とし、年度途中でも既定の予算に達した時点で締め切ります。
※過去5年間に補助を受けた方は該当しません。

問合せ 環境衛生課 ☎89・2173

廃食用油回収拠点

	場 所	回収時間
1	市役所保管庫 (旧淳城第二小学校)	平日 8:30 ~ 17:15
2	向能代地域センター玄関	
3	南地域センター玄関	
4	扇淵地域センター玄関	
5	檜山崇徳館玄関	
6	鶴形地域センター玄関	
7	常盤の里交流センター玄関前	
8	中央公民館駐車場脇倉庫	
9	テラタ向能代店	終 日
10	イオン能代店 1階サービスカウンター	8:00 ~ 22:00
11	ザ・ビッグ能代長崎店	7:00 ~ 21:00
12	ザ・ビッグ能代高埴店	8:00 ~ 21:00
13	マックスバリュ能代北店	8:00 ~ 22:00
14	市役所二ツ井町庁舎駐輪場	終 日
15	旧富根出張所敷地内	
16	二ツ井公民館玄関前	
17	いとく二ツ井ショッピングセンター	

※イオン能代店、ザ・ビッグ能代長崎店、ザ・ビッグ能代高埴店、マックスバリュ能代北店では500mlのペットボトルに入れてお持ちください。容器ごと回収します。その他の回収拠点では、容器をお持ち帰りください。

市内17カ所の回収拠点で、皆さんのご家庭で不要になった使用済みの食用油を回収しています。回収された廃食用油は、BDF（バイオ・ディーゼル・ヒューエル）と呼ばれる、軽油の代替燃料としてリサイクルされ、地球温暖化の防止に貢献します。

廃食用油回収実績

年度	数量
平成27年度	7,152ℓ
28年度	7,095ℓ
29年度	8,620ℓ
30年度	8,003ℓ
令和元年度	6,595ℓ



廃食用油の回収拠点を利用しましょう

三二環境通信

～ごみを減らして循環型社会の実現へ～

能代市のごみ事情について考えてみましょう

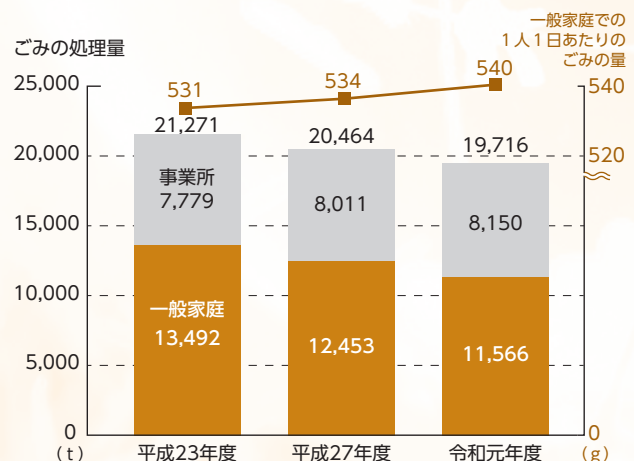
家庭で出たごみはどこへ行くの？

燃えるごみは三種町にある南部清掃工場で焼却されます。燃えないごみは八峰町にある北部粗大ごみ処理工場で破碎。鉄などの資源となるものを回収し、残った物や焼却灰を能代市の最終処分場で埋立処分しています。

各施設には、設備の使用頻度による寿命や、埋立できる処分量に限りがあります。出来るだけ長く施設を利用し、ごみ処理にかかる経費をかけないようにするため、各家庭でごみの減量に取り組みましょう。

能代市ではどのくらいのごみが出ているの？

市のごみ処理量は減少傾向にあります。令和元年度の家庭系の資源ごみを除く市民1人1日あたりの排出量は540gと年々増加傾向にあります。限りある資源を後世に残すためにも、家庭から出るごみの分別にご協力ください。



1人ひとりの取り組みが、資源の有効活用・ごみの減量化につながります